

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	722
施策名	市政情報の共有と広聴活動の充実
関係課	広報ブランド推進課、政策調整課、行政経営課、市民生活課

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

指標	単位	実績値			見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
a 市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合	%	66.9	70.0	69.6	68.1	68.8	70.0	86.0 ④現在の想定では目標達成が困難
b 広聴活動が十分にされていると思う市民の割合	%	21.2	24.4	38.0	35.2	37.6	40.0	50.0 ④現在の想定では目標達成が困難
c								
d								

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
3	市政情報発信事業	市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合	%	69.6	68.1	68.8	2,441	6,815	7,195 ・SNS登録者数は着実に増加傾向がみられる。
8	世論調査事業	広聴活動が十分にされていると思う市民の割合	%	38.0	35.2	37.6	677	709	617 ・ホームページはビュー数の大きな増は見込めないが、アクセシビリティの向上を目指して府内各所に適宜指導を行った。 ・意見聴取が十分に行われていると市民に感じてもらう。

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
8	統計協議会支援事業	会員数/登録調査員数	%	19	18	22	150	200	200 ・統計協議会の会員数を増やし、協議会の組織の拡充強化を図るとともに、統計調査に熟達し、経常的に調査に従事する人材を育成、確保する。 ・令和6年度は新規加入者が脱会者を上回り、会員数が増加した。
10	経常委託統計調査実施事業	市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合	%	69.6	68.1	68.8	43	44	41 ・市民の市政に対する理解や関心を高める。 ・令和6年度の市民アンケートの結果では、市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合は増加した。
11	周期委託統計調査実施事業	市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合	%	69.6	68.1	68.8	3,093	6,155	8,739 ・市民の市政に対する理解や関心を高める。 ・令和6年度の市民アンケートの結果では、市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合は増加した。

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
5	在京佐野ふるさと会支援事業	本市情報に接触した人の割合	%	33.9	29.8	29.3	100	100	100 ・都内で行われる催し等への参加
7	佐野ふるさと特使イメージアップ推進事業	本市情報に接触した人の割合	%	33.9	29.8	29.3	2	4	0 ・各自の活動の中で佐野市のPRをしていただく。

(3) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

・令和4年度に広報紙の構成等を見直す取組を行い、令和5年度から大きく紙面を変えて発行している。市民からもおおむね好意的に捉えられている。

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

・市政情報発信事業における指標「市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合」（市政に関するアンケート調査）の実績値が、目標値を達成できていない。効果的な情報発信方法を研究し、成果の向上を図る。
・世論調査事業における指標「広聴活動が十分にされていると思う市民の割合」（市政に関するアンケート調査）の実績値が目標値を達成できていない。他市事例や先進事例を参考に、事業の一部変更を検討する。

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

①令和6年度行政経営方針

・市政懇談会について、参加者を募り地区ごとに開催する従来の方法に加え、学生対象型懇談会を実施することにより若い世代の参加を促す。さらに、幅広い年代で意見聴取ができる仕組みの検討を行う。

②令和6年度行政経営方針の取組状況

・令和5年度から学生を対象とした市政懇談会の実施を開始した。
・広報紙について、市民の関心の高いテーマの特集を組み、市民の啓蒙と閲読率の向上に努めている。
・市ホームページについて、会議での周知や個別の指導により、アクセシビリティの維持・向上を図っている。
・SNSについて、府内で統一した運用を行い、利用者への便宜と市政の周知の両立を図っている。

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組

(1) 課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>

【令和7年度以降にも引き継がれる課題】
①広報紙の閲読率の向上
②WEBアクセシビリティに関する職員の理解の向上
③ホームページやSNSにおける適切で効果的な情報の発信
④市政に関するアンケート調査の回収率の向上
⑤市政懇談会での多様な世代からの意見の聴取

①広報紙の特集テーマの選定や紙面構成について、市民の関心の高いテーマの選定や読みやすい紙面構成に留意する。
②ホームページの更新等の際、個別的に指導を行うとともに、広報広聴主任者会議等で重点的に説明を行う。
③ホームページやSNSでの情報発信について、実務上可能な範囲でユーザーの視点・動向を考慮した届け方、頻度、タイミングで行う。
④市政に関するアンケート調査について、令和6年度にWEB方式を併用したが、回答率が低下したため、実施方法の改善を検討する。
⑤市政懇談会について、テーマ別での実施を試行し、多様な世代から多様な意見を聴取できるよう努める。

①広報紙は、市民にとって読んでみたくなるデザインや構成により、市民が求める記事を掲載することで閲読率の向上を目指す。
②各課が行うホームページの更新については、最新情報への更新を徹底する体制を整える。
③SNSの活用について、配信内容に応じた配信時間や頻度、重要性や緊急性の度合いなどを考慮した運用について検証し、必要に応じて改善を図る。
④市政に関するアンケート調査については、令和7年度調査の回収率等の実績を分析し改善するとともに、後期基本計画で掲げた施策の成果指標との整合性を考慮した設問構成を検討する。
⑤市政懇談会について、令和7年度の実施結果を検証し、より広聴効果の高い実施方法について検討する。

(3) 次年度（令和8年度）の取組（案）